

# 河合塾小論文特別講義 (進学指導重点校事業)

平成30年10月17日(水) 15:30~17:00

講師: 河合塾国語科・小論文科講師 大田裕二 先生

秋の推薦入試を迎える時期になり、受験生にとって難関となる小論文入試についてどのようにアプローチすべきかを学ぶ場として、河合塾より講師を招き、小論文特別講義が実施されました。参加生徒は事前課題に取り組み、「課題文読解のポイント」「採点基準」などを学びました。時間後も個人的なアドバイスをいただき、入試に向かう生徒にはとても大きな力をいただくことができました。



\* 課題を一度やってみて、今日の解答例をみるとまったく違うことに驚きました。なぜなら私は、進みたい学科を関連づけていなかったからです。なぜこの文章、問題がこの学科で出題されているのかという出題者の意図を予測して、これからの小論文にチャレンジしたいと思います。

\* 志望理由書にはどのようなことを書けばよいのか、具体的な例を出しながら説明してもらえたので、とてもよくわかりました。小論文は、まず設問の大事なところを確認して、一文ずつ意味を吟味し、段落の主旨を捉えて、課題文の構造を理解するという流れがよくわかりました。

\* 小論文の書き方がよくわからなかったけど、課題文をどのように読んでいけばいいのかやどうやって筆者の主張をまとめればいいのかわかりました。また、採点されるポイントもわかったので、より高い点数が取れるように書ける練習をしたいと思います。

\* 事前課題で自分が書いたものを先生に教えていただいたものと比べると文章の意味がしっかり通っておらず、課題文を写しただけのものになってしまっていたのを確認できて、どこを直せば良いかということも自分なりに理解することができました。二次試験で小論文が必要になる可能性があるので、日頃から現代文の勉強も兼ねて新聞を読むようにしようと思いました。

\* 私はいつも型を意識して書けば間違いないと考えていたけれど、そのせいで設問の主旨から外れてしまうこともあると知ることができたので、型にこだわりすぎずに設問をしっかりとらえて書いていきたいと思いました。知識のストックがないとうすっぺらい文章になってしまうので、日々新聞を読みたいです。

\* 今日の講義を受けて、小論文は設問を分析したり、何を目的として線を引くかを明確にすることがわかり、これからの練習に活かしていこうと思いました。また、今後は、過去問や他大学の似た傾向の問題を練習したり、日頃から経済分野のニュースや新聞記事に目を通していこうと思いました。

\* 学校では聞けないような濃い内容の対策が聞けて、今後の勉強の方向性が見つめました。小論文は何を書いたらよいかすら分からず、書くのを止めてしまうことがありました。しかし、今日聞いて一つ一つ消化して考えて行けば、文章を書くことが苦手な私でも書けるという自信をもらったので、たくさん練習して頑張ろうと思いました。